

令和6年度（学び続ける教師を応援する）しまだい学校教員研修 ※対面（集合型）

研修名	多様性と共に生きる学校について考える				
資質向上に関する指標（文科省）	教職に必要な素養 特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	プログラム指標（しまだい）	子ども支援		
キャリアステージ	自立・向上期（1～10年目）	○	研修レベル	基礎（学部1・2年レベル）	
	探究・発展期（10～20年目）	○		応用（学部3・4年レベル）	
	充実・円熟期（20年目以降）	○		発展（大学院レベル）	○
開設日	令和6年7月25日（木）	時間数	6時間	定員	25名
会場	山陰教員研修センター （島根大学教育学部附属義務教育学校前期課程に併設）	所在地	島根県松江市大輪町416-4		
授業形態	演習、講義	対象校種	全校種		
		対象教科	全教科		
実施方法	対面（集合型）	対象職種	広く学校教育関係者		
担当講師	津多 成輔（島根大学教育学部 講師） 齋藤 英明（元島根大学教職大学院 教授）				
研修内容	学校では、発達上の特性、障がい、ジェンダー・性自認、外国にルーツのある人々の増加による文化間の相違等、配慮すべき要素が増加・多様化している。本研修では、こうした学校をめぐる多様化に通底する「共生」についての理解を主体的・対話的な学びによって深める。具体的には、「共生」に関する基本的な事項を概説した上で、書籍（『共生と希望の教育学』筑波大学出版会）の講読した上で、討議を行う中で学校のあり方を考える。				
日程 ※研修の進み具合によっては、予定時間を変更することがあります。	時間	内容 ※研修中は適宜休憩をとります。			
	8:40～9:00	受付			
	9:00～9:10	オリエンテーション			
	9:10～10:30	「共生」の理論			
	10:30～12:00	『共生と希望の教育学』を読む			
	13:00～15:20	「共生」について考える			
	15:20～16:00	学校教育における「共生」の可能性			
	16:00～16:15	「実施後アンケート」記入・事務連絡 ※「研修の課題・振り返り」の記入は研修時間内で随時			
研修に関して各自準備するもの	特になし				
事前課題	特になし				
その他	<ul style="list-style-type: none"> 募集要項に記載の携行品等をご持参ください。 本研修は、受講者と講師あるいは受講者間の対話を中心に進めます。 講義の内容に関する質問等に、メールで対応します。 stsuda@edu.shimane-u.ac.jp まで、ご連絡ください。 当日の駐車場は、附属義務教育学校前期課程校庭です。南側入口からお入りください。 				